

9月一般質問答弁書

Q 奈半利町ランカガ岡墓地（独立式納骨堂）の修繕をすべきでは？

質問 1 回目

奈半利町ランカガ岡墓地は、昭和 47～48 年度に造成を行い昭和 50～51 年度に独立式納骨堂 700 基が建設され、昭和 51～52 年度に全ての区画整備が終了しております。

月日は早いもので建設より約 46 年が過ぎようとしている。当時は、奈半利町が東浜地区のインフラを整備する為に現在のランカガ岡墓地に改葬を行ったものと理解しております。

このランカガ岡墓地に改葬された経緯につきましては、様々な事情が御座いますが今回は割愛させていただきます。平成 20 年 9 月 22 日条例第 23 号において条例の改正が行われ、以後は奈半利町の墓地として維持・管理が行われており、奈半利町民であれば誰もが利用できる制度と成って居る。

墓地の（独立式納骨堂）の現状を視てみると約 46 年が経過している事を表すように老朽化が進み、多くの洗い出し部分に損傷が見受けられ、危険な状況にある。

先祖に対し尊崇の念を抱き、四季折々には手を合わせ供養そして感謝の気持ちを伝える。家族の心のよりどころ、その場所がお墓ではないでしょうか？

現在の無残な納骨堂の状況を視ると、手を合わせながら心が痛んで成りません。

また、3 年ぶりに、お盆に帰省されていた奈半利町出身の方より問い合わせも受けております。

まず、ランカガ岡墓地（独立式納骨堂）の現状を早急に調査し、損傷や危険な状況にあるものは速やかに修繕を行うべきと考える。併せて、今後の修繕対応についても執行部の見解を伺う。

答弁者（住民福祉課長 寺村 光志）

「ランカガ岡墓地独立式納骨堂の修繕」に関する質問にお答えします。

ご指摘のとおり、当該墓地の独立式納骨堂は設置後46年が経過しております。

まずは調査を実施し、劣化が著しい個所より修繕に取り組んでまいります。

今後の対応につきましては、令和5年度当初予算に修繕費を計上して取り掛かれるよう、業務に着手を致します。